

V. A. アツェコフスキー 『エーテル動力学的自然科学の始動』  
全 6 巻の構成と目次

本書は次の全 6 巻から構成されています。邦訳版はすべて訳者（吉田正友）のサイト「物理の旅の道すがら」(<http://naturalscience.world.coocan.jp>)に掲載されています。

- 第 1 巻 現代理論物理学の方法論的危機
- 第 2 巻 第 1 部 エーテル動力学的の方法論とエーテルの性質  
第 2 部 物質構造のエーテル動力学的基礎
- 第 3 巻 宇宙論と宇宙進化論のエーテル動力学的基礎
- 第 4 巻 第 1 部 電磁気現象のエーテル動力学的基礎  
第 2 部 光学現象のエーテル動力学的基礎
- 第 5 巻 最初のエーテル動力学的実験と技術
- 第 6 巻 最新のエーテル動力学的実験と技術

読者が本書全体の概要をあらかじめ把握できるようにするため、全 6 巻の目次を次頁以下に掲げます。

なお、著者の理論の全体像をつかむために、上記のサイトに掲載されている V. A. アツェコフスキー『相対性理論の基礎に関する批判的分析』を是非ご一読されることをお勧めします。

## 第1巻 現代理論物理学の方法論的危機 目次

本シリーズのテーマについて

まえがき

### 第1章 社会的生産と自然科学

- 1.1. 社会的生産における自然科学の役割
- 1.2. 古典物理理論の目的と構造について
- 1.3. 19世紀末における古典物理学の危機の原因としての形而上学
- 1.4. 現代物理理論の目的と構造について
- 1.5. 現代理論物理学の方法論的危機の原因としての観念論
- 1.6. 自然科学の主要問題
- 1.7. 現代理論物理学の危機

結 論

### 第2章 相対性理論の基礎について

- 2.1. アインシュタインの相対性理論の出現の前提条件について
- 2.2. アインシュタインの相対性理論の出発点をなす公準について
- 2.3. 特殊相対性理論の論理
- 2.4. 一般相対性理論の論理
- 2.5. 実験の設定および実施のいくつかの方法論的特徴
- 2.6. 実験結果の解釈のいくつかの特徴
- 2.7. 相対性理論の命題を裏づけているとされる同理論に関する実験

結 論

### 第3章 量子力学は古典力学と何が異なっているか？

- 3.1. 量子力学の形成におけるラザフォードの原子モデルの役割
- 3.2. 量子力学のいくつかの欠点について
- 3.3. 量子力学の基本的命題の古典論的解釈

結 論

### 第4章 現代物理学のいくつかの領域における現状に寄せて

- 4.1. 原子物理学および核物理学における現状に寄せて
- 4.2. 電気力学における現状に寄せて
- 4.3. 宇宙論における現状に寄せて

結 論

### 第5章 非伝統的物理理論の創出の試み

- 5.1. A.A.ログノフの相対論的重力理論
- 5.2. B.N.ロジモフの自励振動量子力学
- 5.3. 時間の物理的性質に関する N.A.コズイレフの理論
- 5.4. G.I.シポフの物理的真空理論その他いくつかの理論

結 論

### 3 第1巻目次

#### 第6章 現代理論物理学の方法論に対する批判

- 6.1. 現代物理理論の目的に対する批判
- 6.2. 公準性に対する批判
- 6.3. 諸過程の本質を時空のゆがみに帰着させることに対する批判
- 6.4. 物理学の数学化に対する批判
- 6.5. 現象論に対する批判
- 6.6. 個別的法則性を一般的法則性として提示することに対する批判
- 6.7. 事実の選択と実験結果の解釈の偏向性に対する批判
- 6.8. 微視的世界の対象物の無構造的性に対する批判
- 6.9. 現代物理理論と弁証法的唯物論のものの見方の比較
- 6.10. 科学と疑似科学

結 論

#### 第7章 自然科学の方法論としての弁証法的唯物論

- 7.1. 自然科学と哲学の基本問題
- 7.2. 自然科学における仮説，理論および法則
- 7.3. 形而上学と弁証法．真理の相対性
- 7.4. 事実とその解釈
- 7.5. 自然科学における因果性と偶然性
- 7.6. 内容と形式，形式主義と実証主義
- 7.7. 現象論と動力学
- 7.8. 物理モデル化と数学的記述

結 論

#### 第8章 次なる物理学革命の前夜に

- 8.1. 物理理論の発展の体系的・歴史的方法
- 8.2. 自然科学の発展段階としての物理学革命
- 8.3. 第6次物理学革命の前夜とエーテル動力学の前提条件

結 論

あとがき 科学と疑似科学

文 献

## 第2巻第1部 エーテル動力学の方法論とエーテルの性質 目次

まえがき エーテルと弁証法的唯物論

### 第1章 エーテル小史

- 1.1. エーテルに関する理論とモデルの概観
- 1.2. エーテルに関する既知の仮説, 理論およびモデルの欠点
- 1.3. エーテル風, 現実と捏造

結 論

### 第2章 エーテル動力学の方法論的基礎

- 2.1. 普遍的物理不変量
- 2.2. 構造と過程のモデル的(定性的)理解
- 2.3. 現象の内的メカニズムの解明方法

結 論

### 第3章 エーテルの構造

- 3.1. エーテルの構造
- 3.2. エーテルの諸パラメーターの数値の決定
- 3.3. エーテルの運動形態

結 論

### 第4章 気体渦の構造

- 4.1. 渦運動論小史
- 4.2. 線状気体渦の形成と構造
- 4.3. 気体渦のエネルギー論
- 4.4. 線状渦の周りにおける気体の運動, エネルギー論的パラドックス
- 4.5. トロイダル気体渦の形成と構造, らせん運動の形成
- 4.6. トロイダル渦の周辺における気体の運動
  - 4.6.1. らせんトロイダル渦の周辺における気体のトロイダル運動と円周運動
  - 4.6.2. 渦の近傍における温度場と渦による周囲気体の吸収
- 4.7. 渦の拡散
- 4.8. 気体と渦の力の相互作用
  - 4.8.1. 物体に対するの力の作用の本質
  - 4.8.2. 物体の前面に対する気体流の作用
  - 4.8.3. 物体の側面に対する気体流の作用
  - 4.8.4. 物体に対する媒質の熱力学的作用

結 論

あとがき

文献

## 第2巻第2部 物質構造のエーテル動力学的基礎 目次

### まえがき

#### 第1章 核子と原子核

- 1.1. 原子核研究小史と既存の原子核モデル
    - 1.1.1. 原子核の発見と物質構造の実験的研究
    - 1.1.2. 現代の原子核モデル
    - 1.1.3. 原子核の研究方法論に対する批判的コメント
  - 1.2. 陽子のエーテル動力学的パラメーターの決定
  - 1.3. 陽子の強い相互作用と電磁相互作用の物理的本質
  - 1.4. 中性子の形成と構造
  - 1.5. 原子核モデル
    - 1.5.1. 元素周期系と原子核の組成
    - 1.5.2. 原子核の構造的組織化の基礎的なエーテル動力学的原理
    - 1.5.3. 複合核のいくつかの一般的性質
    - 1.5.4. 複雑な核の構造
  - 1.6. 渦トロイドの励起状態——弱い相互作用
  - 1.7. 元素変換の可能性について
  - 1.8. 核異性
- 結 論

#### 第2章 原子物理学

- 2.1. 原子物理学・量子力学形成小史
  - 2.2. 量子力学の哲学のいくつかの特徴について
  - 2.3. 量子力学の方程式の流体力学的解釈
  - 2.4. 原子と分子の電子殻の構造
  - 2.5. オーラのエーテル動力学的本性
- 結 論

#### 第3章 分子と化学的相互作用

- 3.1. 化学結合と分子の形成
  - 3.2. 共有結合と化学動力学的相互作用
  - 3.3. 分子間結合の形成
  - 3.4. オーラとキルリアン発光
  - 3.5. 触媒作用のメカニズム
- 結 論

#### 第4章 エーテル動力学的熱力学

- 4.1. 熱と物質の集合状態
  - 4.2. 自由電子の構造と金属の電気伝導および熱伝導の物理的本質
  - 4.3. 発熱核反応のエーテル動力学的メカニズム
- 結 論

## 6 第2巻第2部目次

あとがき

文 献

付録1. オグジェヴァリスキーによる分子構造のモデル化

付録2. キルリアンの方法による写真

## 第3巻 宇宙論と宇宙進化論のエーテル動力的基礎 目次

まえがき

### 第1章 宇宙論と宇宙進化論の形成

- 1.1. 古典的宇宙論の形成
- 1.2. 古典的宇宙進化論の形成
- 1.3. 宇宙論のパラドックス
- 1.4. 宇宙論と宇宙進化論の現状
- 1.5. 現代宇宙論と宇宙進化論の形而上学的誤謬
- 1.6. 現代宇宙論と宇宙進化論の方法論的誤謬

結 論

### 第2章 エーテル動力学のいくつかの命題

- 2.1. エーテルと宇宙論におけるその役割
- 2.2. エーテルに関する既知の仮説，理論およびモデルの欠点
- 2.3. 宇宙現象の基礎としての普遍的物理不変量
- 2.4. 地球近傍空間におけるエーテルの定性的性質
- 2.5. エーテルの諸パラメーターの数値の決定

結 論

### 第3章 宇宙現象に関する検討のための初期データ

- 3.1. 宇宙のエーテル動力的構造
- 3.2. 宇宙におけるエーテル循環とエネルギー循環
  - 3.2.1. 宇宙におけるエーテル循環
  - 3.2.2. 宇宙におけるエネルギー循環
- 3.3. エーテル風，現実と捏造
- 3.4. 渦巻銀河の銀河核における陽子と水素原子の形成
  - 3.4.1. 陽子の構造，形成および崩壊
  - 3.4.2. 陽子の3種類の安定状態
- 3.5. エーテル中における熱拡散過程の結果としての重力相互作用
  - 3.5.1. 重力に関する理解の発展小史
  - 3.5.2. 物体の重力相互作用の基礎としてのエーテル中における熱拡散過程
  - 3.5.3. 重力波
- 3.6. 宇宙放射
  - 3.6.1. 宇宙線
  - 3.6.2. 背景放射

結 論

### 第4章 銀河の構造とその変容

- 4.1. 銀河に関する発見小史と現代的理解
- 4.2. 渦巻銀河の構造
- 4.3. 渦巻銀河におけるエーテル循環

## 8 第3巻目次

4.4. 銀河の形態分類

4.5. 銀河の機能分類

結 論

### 第5章 太陽系と宇宙

5.1. 恒星とその進化

5.2. 典型的な黄色星としての太陽

5.3. 銀河の一要素としての太陽系

5.4. 天体の運動に対するエーテルの抵抗

5.5. 太陽黒点と太陽風

5.6. 彗星：起源、構造および進化

結 論

### 第6章 地球と宇宙

6.1. 地球研究史より

6.2. 地球の「結晶構造」のエーテル動力的メカニズム

6.3. エーテル風と地球の形状

6.4. 重力と地球の膨張

6.5. ジオパソジェニック放射と地球-月の相互作用

6.5.1. ジオパソジェニックゾーンとその発現

6.5.2. 基本的自然現象としての地震活動

6.5.3. ジオパソジェニック放射のエーテル動力的本質

6.5.4. 地球と月の相互作用

6.5.5. 非生体物質と生体物質に対するジオパソジェニック放射の作用メカニズム

結 論

あとがき

文 献

付録： 彗星の写真



## 第4巻第1部 電磁気現象のエーテル動力学的基礎 目次

まえがき

### 第1章 電気とは何か？

- 1.1. 電磁理論形成小史
- 1.2. 電荷のエーテル動力学的本質
- 1.3. MKS 単位系における電気量と磁気量の単位

結 論

### 第2章 電磁気のエーテル動力学的本質

- 2.1. 自由電子の構造
- 2.2. 電場の物理的本質
- 2.3. 金属中における電流の物理的本質
- 2.4. 磁場の物理的本質

結 論

### 第3章 電荷の蓄積と運動

- 3.1. コンデンサー（電気容量）
- 3.2. 電場中における自由電子
- 3.3. 磁場中における自由電子
- 3.4. インダクタンス、自己誘導現象のメカニズム

結 論

### 第4章 電磁相互作用

- 4.1. 通電導体の力の相互作用
- 4.2. 導体の相互誘導
- 4.3. 変圧器
- 4.4. 電磁誘導
- 4.5. 直流電流と磁石の相互作用
- 4.6. 永久磁石の相互作用

結 論

### 第5章 電磁場

- 5.1. マクスウェル方程式とその限界性
- 5.2. 電気力学の方程式の若干の精緻化
- 5.3. 電磁放射の種類
- 5.4. 浮遊電流の準静電場
- 5.5. 横電磁波の構造
- 5.6. 縦電磁波の構造

結 論

あとがき

文 献

付録：エーテルからの直接的なエネルギー取得の可能性について

1. まえがき． 課題設定
  2. ヒートポンプ
    - 2.1. 「永久機関」． 熱力学の原理と宇宙の熱的死
    - 2.2. 物理学革命． エーテルと自然界におけるその役割
    - 2.3. 「ヒートポンプ」とは何か？
  3. 渦のエネルギー論
    - 3.1. 曲線運動に関する若干のデータ
    - 3.2. ウッドの箱． 竜巻とサイクロンはどこからエネルギーを得るのか？
    - 3.3. 遠心ポンプ． 水渦はどこからエネルギーを得るのか？
    - 3.4. 球雷はどこからエネルギーを得るのか？
  4. テスラ変圧器
    - 4.1. 磁場のエネルギー論をどう評価するか？
    - 4.2. 高速スイッチとエーテルのエネルギー論
    - 4.3. テスラの2重らせん
    - 4.4. テスラ変圧器
    - 4.5. ポジティブフィードバックの特徴とエネルギー流の制御
  5. エーテル動力学的エネルギー発生器模型の構成図
- 結 論

## 第4巻第2部 光学現象のエーテル動力的基礎 目次

まえがき

### 第1章 光学現象発見史

- 1.1. 光学小史
- 1.2. 光速度測定 of 歴史
- 1.3. 光速度とエーテル風

結 論

### 第2章 光の構造的組織化

- 2.1. 光子の構造
- 2.2. 空間中における光子の移動
- 2.3. 遠方銀河のスペクトルの「赤方偏移」
- 2.4. 背景放射

結 論

### 第3章 光学現象

- 3.1. 光の反射
- 3.2. 光の屈折
- 3.3. 干渉
- 3.4. 回折
- 3.5. 光行差
- 3.6. 光線の相互作用

結 論

あとがき

文 献

## 第5巻 最初のエーテル動力学的実験と技術 目次

まえがき

### 第1章 エーテル風の研究

- 1.1. 小史と問題の現状
- 1.2. 不確定的または肯定的な結果を与えた実験
- 1.3. 肯定的な結果を与えた現代の実験
  - 1.3.1. アツェコフスキー V.A. レーザーを用いたエーテル風の研究
  - 1.3.2. ガラエフ Yu.M. 地球表面近傍空間の等方性研究用のミリ波干渉計
  - 1.3.3. ガラエフ Yu.M. 光速度の異方性測定用の光学干渉計

### 第2章 高周波電磁気現象に伴うジオパソジェニック場およびパソジェニック場の研究

- 2.1. 地球によるエーテルの吸収とジオパソジェニック放射
- 2.2. 地震および火山噴火予知のいくつかの可能性について
- 2.3. アツェコフスキー V.A., レオンチェフ A.G. レーザー測定装置とワイヤー式中和器を用いたジオパソジェニックゾーンの研究
- 2.4. レオンチェフ A.G. ドドノフの「コルビオ」を用いた垂直エーテル流の研究
- 2.5. アツェコフスキー V.A., レオンチェフ A.G. ジオパソジェニック放射が金属平面に及ぼす影響の研究
- 2.6. アツェコフスキー V.A. 電磁気現象におけるパソジェニック放射の検出

### 第3章 植物による空気からの炭酸ガス吸収の研究

- 3.1. 問題の現状
- 3.2. ガルキン I.N. 光合成：実験は植物の空気からの栄養摂取と呼吸の存在を裏づけていない
- 3.3. シェストパロフ A.V. 光合成の際に炭酸ガス吸収は生じていないという説の検証

### 第4章 レプトン泡の研究

- 4.1. 共有結合が金属の帆に及ぼす力の影響
- 4.2. レプトン泡が印画紙の感光性に及ぼす影響
- 4.3. レプトン泡が誘電率に及ぼす影響

### 第5章 電磁気現象の領域における実験

- 5.1. 導体の相互誘導
- 5.2. アンペールの法則の検証
- 5.3. 変圧器中の巻線間におけるエネルギー伝達
- 5.4. 媒質中における電場の相殺
- 5.5. 電流の圧縮性
- 5.6. 電波の縦方向伝播

第6章 エネルギー危機の解決に対するエーテル動力的アプローチ

- 6.1. 一般的課題設定
- 6.2. ヒートポンプ
- 6.3. 曲線軌道に沿った物体の運動について
- 6.4. 気体渦のエネルギー論について
- 6.5. 渦式熱発生器
- 6.6. 通電導体の磁場エネルギー
- 6.7. テスラ変圧器の動作の特徴
- 6.8. ポジティブフィードバックの特徴とエネルギー流の制御
- 6.9. エーテル動力的エネルギー発生器
  - 6.9.1. エーテル動力的エネルギー発生器模型の構成図
  - 6.9.2. タリエル・カパナゼのエーテル動力的発電機

付録1. アツェコフスキー V.A. 特許第 2261521 号. 電気エネルギーを得るための装置

付録2. タリエル・カパナゼの発電機模型のデモンストレーション用写真と特許

付録3. 相対性理論の基礎に関する批判的分析

## 第6巻 最新のエーテル動力学的実験と技術 目次

まえがき

### I. エーテルの存在の裏づけとしてのエーテル風

1. ガラエフ Yu.M. D.C.ミラーの実験の電波および光波領域における再実施結果
2. イグナテンコ Yu.V., イグナテンコ I.Yu., トリャピツィン V.N. レーザー測位時における光の偏向. 実験的研究
3. プリスタフコ V.N. レーザービームの状態の年周変化

### II. エーテル音響学

4. コズイレフ N.A., ナソノフ V.V. 星の真の位置と見かけの位置の間の差の測定にもとづく三角視差の新たな測定方法
5. ラヴレンチェフ M.M., グセフ V.A., エガノワ I.A., ルツェト M.K., フォミヌィフ S.F. 太陽の真の位置の記録について
6. エガノワ I.A. 太陽の位置
7. エガノワ I.A., カルリス V. 事象世界におけるアプリオリな相互連関の性質とあり得る帰結
8. コルパコフ N.D. 分極波はいかにして発見されたか, または宇宙相対論の終焉
9. バルイベルジン V.V., グリャニコ V.T., ジュク N.A., コルパコフ N.D., ネチャエフ A.V., チェルヌイシヨフ S.I. キャビテーションキャビティの透過性放射
10. バラノフ D.S., ザテレピン V.N. 「エーテル」の実証に関する簡単明瞭な実験
11. シュノリ S.E., パンチェリュガ V.A. GCP ネットワークの時系列における宇宙物理学的効果

### III. 熱力学とエーテル

12. イワノフ M.Ya. 熱伝導性放射気体モデルにおける熱力学的に整合された諸保存則
13. ジェストコフ G.B., イワノフ M.Ya., リパトフ A.A., ママエフ V.K., リャボフ I.A., スンツォフ S.V., ツヴェトコフ I.V. 低真空条件下で気体状媒質に熱作用が加わったときのアボガドロの法則について
14. マラホフ Yu.I., イワノフ M.Ya., シ, ヌグエン, シチャウロフ V.V. 電磁波波面速度の温度依存性の記録およびその理論的根拠づけと実証例

### IV. 元素変換

15. ヴィソツキー V.I., コルニコワ A.A. 生物系における放射性核種の変換——錬金術師たちの空想の復活か, それとも実験室の現実か?
16. ベルグマン A.A. 原子核と素粒子の物理学

あとがき

付録: アツェコフスキー V.A. 5次元重力子. 現代基礎科学の論理について